

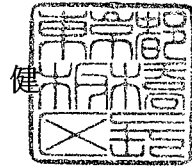


20板土計第63号
平成20年10月20日

国土交通省道路局長 様

板橋区長

坂本



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

日頃より、板橋区の行政にご協力を頂き、厚く御礼を申し上げます。

さて、平成20年9月19日付、国道企第37号でご依頼の「今後の道路行政についての意見・提案の提出」につきましては、下記のとおり回答いたしますので、よろしくお願いいたします。

記

- 1 提出物 別添様式①～④
- 2 連絡先 板橋区土木部計画課計画調整グループ 河島 一郎
電 話 03(3579)2520
F A X 03(3579)2547
メールアドレス d-keicho@city.itabashi.tokyo.jp

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ①

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

東京都板橋区

「都市部の道路整備の積極的推進」

これまでの国内の道路整備は、高規格道路や空港・港湾へのアクセス道、主要国道のバイパスなど、主として幹線道路の整備に重点がおかれてきた。

一方、東京圏に代表される都市部においては、都市計画道路の整備率は伸び悩んでおり、慢性的な交通渋滞改善の兆しは見られない。

今後の中期計画の策定においては、道路特定財源の都市部への積極的配分を考慮していただき、都市部の道路整備の促進、道路環境の向上に力点をおかれたい。加えて都市内の生活道路の管理・保全関連の施策にもその対象を拡大していただきたい。

また、住環境の改善や鉄道敷きの緑化による都市の温暖化防止対策を推進するため、地下化による立体化方式の積極的な採用と補助金額の割り増しをしていただきたい。

今後の道路行政についての意見・提案

②-1 地域の現状と抱える課題

様式 ②

東京都板橋区

○現状	○課題
- 区内の公共交通については、利便性の高い鉄道網が都心から放射軸方向に整備されているが、それぞれが独立しており互いに結ばれていない。 - 区内の道路については、中山道・川越街道をはじめ、主要幹線道路の整備は進んでいるが、幹線道路をつなぐ都市計画道路や生活道路の整備が一部遅れている地区がある。 - 区内を通る鉄道の連続立体化の整備が遅れている。 - 区内の生活道路に乱立する電柱・電線は、安全な歩行空間の確保や良好な景観の保全の支障となっている。 - 歩道においては、歩行者と自転車が混在しているため危険な状況が生じている。 - 交通環境の整備については、駅周辺のエレベーター・エスカレーターや鉄道を跨ぐ連絡通路の整備が出来ていない地区がある。	- 利便性向上のため、区を東西方向に結ぶ新線を国に対し関係区とともに強く要望しているが、実現していない。 - 慢性的な交通渋滞の解消に向けた都市計画道路の早期完成が求められている。 - 踏切における事故や渋滞、まちの分断の解消に向けた鉄道の連続立体交差の早期整備が求められている。 - 安全や景観に対する区民の意識が高まっており、生活道路においても無電柱化が求められている。 - 互いに安心して通行できる歩道や自転車の整備・確保が求められている。 - 駅周辺を含めた道路全体のバリアフリー化や鉄道で分断された地区の連絡通路の整備が求められている。

板橋区では、次の6つのまちづくりを目標に掲げ、誰もが安心して快適に暮らせ、生活の利便性、地域の活力に支えられて住み続けられるまちの実現を目指しています。

1 みどりともみずを活かした健全な環境共生都市の形成

限りある資源や貴重な自然環境の大切さを認識し、将来に向けて快適な都市生活ができるよう、みどりやみずの保全・育成を図ります。さらに、身近なところから地球規模の環境保全に配慮した環境共生都市の形成を目指します。

2 安全・安心な都市活動を支える防災都市づくりの推進

人々の生命と財産を守り、安全で安心な都市活動を支えることができるような市街地の形成を目指します。また、防災都市づくりを積極的に推進するため、災害時だけでなく、日頃からの活発な地域社会の形成を進めます。

3 全ての人が健康で快適に暮らせる生活空間の形成

高齢社会への対応の必要性などを踏まえ、ノーマライゼーションの理念に根ざした社会の実現を目指します。さらに、高齢者や障害者を含むすべての人々がともに地域社会の一員として健康に暮らし、都市活動を快適に営むことのできる生活空間の形成を進めます。

4 次代に引き継ぐ豊かな住環境の形成

多様な地域特性に対応して、様々な土地利用の快適な共存・共生を誘導したり、生活道路網などの整備を推進します。さらに、安全で快適なまちづくりを推進し、私たちの子や孫の代に引き継ぐべき良好で質の高い豊かな住宅・住環境の形成を目指します。

5 魅力ある生活環境と地域交流を創出する商業環境の形成

駅周辺をはじめとする商業活動が生活環境の一翼を担い、区民生活がより豊かになるように、にぎわいのある商業環境の形成を目指します。そのために、商業機能の誘導、地域交流の場の創出など、副都心に対する競争力維持や個性づくりを図ります。

6 21世紀のいたばしを担う、地域に根ざした産業環境の形成

都市型産業の集積地としての板橋区の産業形成過程を踏まえ、市場への近接性や職住近接の利点を最大限に活かしながら、地域に根ざした産業環境の形成を目指します。これにより、産業構造の転換など社会経済状況の変化に柔軟に対応した、21世紀に向けた活力ある都市づくりを進めます。

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

様式 ④

東京都板橋区

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
都市交通の利便性、快適性の向上	・都市計画道路の整備 ・連続立体化事業の推進	・地域の利便性向上や交通渋滞の解消 ・踏切渋滞やまちの分断の解消	
良好な景観の形成	・無電柱化の促進	・歩行空間の確保と良好な都市景観の形成	
歩行者の安全確保	・自転車道の整備	・自転車の安全走行と歩行者の安全性の確保	
災害に強いまちづくり	・橋りょうの架替・改良 ・防災生活圏の促進	・地域の利便性向上と災害時の避難路の確保 ・街区・延焼遮断帯の確保	
バリアフリー化の推進	・道路等公共施設のバリアフリー化	・歩行者や車いす利用者の利便性の向上	